

POWER!

2021年
9月
vol. **76**

令和3年(2021年)
9月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 隔月発行

<http://www.yakuren.jp>

かみや 神谷まさゆき副会長 活動報告(9)



7月23日に東京オリンピックが無観客で開会となり、日本選手の活躍が連日報道され、8月8日閉会となった。一方で、新型コロナウイルス感染症が更に拡大しており、8月末を期限として6都府県に緊急事態宣言が、5道府県にまん延防止等重点措置が適用され、更に9月12日まで延長されることも、9月1日現在、緊急事態宣言は21都道府県に、まん延防止等重点措置は12県に適用されている。また9月1日時点でのワクチンの接種状況は1回目が約58%、2回目が約47%となっており、今後は65歳以下への接種の拡大が期待されている。

第一次公認を受ける!

このような状況の中で、7月14日、神谷副会長は第26回参議院議員通常選挙 比例代表選出議員選挙の候補者として自由民主党よりの公認を受けた。第一次公認を受けた比例代表候補者は現職14名、新人3名であり、神谷副会長はめでたく新人の候補者として公認され、現在は公認候補者として支部訪問活動を展開している。

コロナ禍での支部訪問活動を継続!

●愛知県(6月15日~18日)
山形県の支部訪問が延期されたことから地元愛知県のこれまで訪問していない支部を訪問した。4支部の薬局74か所、病院1か所、その他2か所(診療所と薬草園)を訪問した。

●岩手県(6月22日~25日)

10支部の薬局107か所、卸事業所8か所を訪問するとともに、2か所で開催された集会(それぞれ38名、40名参加)に参加することができた。

●青森県(6月29日~7月2日)

8支部の薬局111か所、卸事業所12か所、病院1か所のほか、国会議員事務所など7か所を訪問することができた。また、支部の会員との2か所で開催された意見交換会(それぞれ47名、17名参加)に参加した。

●北海道(7月6日~10日、13日~16日)

15支部の薬局180か所、卸事業所21か所、病院3か所を訪問するとともに、Zoomミーティングを6か所で実施し、総計380名の会員と意見交換を行った。また、釧路では「神谷まさゆき先生を釧路にお迎えして」という集会在ハイブリッドで開催され28名が参加された。このほか、函館薬剤師会の理事会にリモート参加し、札幌では北海道薬剤師連盟の総会に山本会長と共に現地参加した。結果として北海道では総数472名の会



●東京都(7月20日~22日)
初日の昼は区西北部医療圏3支部の薬局を訪問、夜は同地区の会員とのオンライン懇親会、二日目の昼は北多摩南部医療圏3支部の薬局と卸事業所を訪問、夜は同地区の会員とのオンライン懇親会、最終日は江戸川区、葛飾区、荒川区、中野区の休日当番薬局を訪問した。訪問した薬局は78か所、卸事業所1か所、そのほか薬局の本部を2か所訪問した。

●福島県(7月27日、28日)
初日はいわき支部において23か所の薬局を訪問後、福島県薬剤師会主催の薬剤師の将来像に関する研修会(ハイブリッドで行われ、現地参加約20名を含む約50名が参加)において挨拶することが出来た。翌日は郡山支部に移動し、薬局13か所、卸事業所7か所を訪問した。

●山形県(7月28日、29日)
福島県の支部訪問終了後、神谷副会長は町野アロック総務とともに車で山形市に移動し、「神谷まさゆき氏と語る会」に参加した。会場参加34名、ウェブ参加42名、サテライト会場への参加が11名であった。翌日は山形市内の薬局10か所を訪問し、秋田県への移動途中で調剤薬局本部を訪問した。

●秋田県(7月29日、30日)
東京都(7月20日~22日)
長野県(8月2日~5日)
長野県(8月2日~5日)
●長野県(8月2日~5日)
県北部から南部まで全県にわたって13支部を訪問し、薬局108か所、卸事業所6か所、製薬企業2か所、病院2か所を訪問することが出来た。

●秋田県(7月29日、30日)
29日に開催された令和3年度秋田県薬剤師会第5回理事会及び第5回薬剤師連盟総務会に山本会長とともに参加した。翌日は秋田中央支部の薬局9か所及び卸事業所1か所を訪問した。

●支店訪問と並行して都道府県の会合へも参加!
神谷副会長は、支部訪問活動とともに、可能な限り都道府県の会合にも参加している。6月中旬から8月中旬までに参加した会合は次の通りであった。
東京都(薬剤師会通常総会...リアル)、香川県(薬剤師連盟評議員会...ウェブ)、福島県(薬剤師会定時総会...ウェブ)、岡山県(薬剤師連盟青年部会議...ウェブ)、熊本県(薬剤師連盟定時評議員総会...ウェブ)、長野県(薬剤師連盟臨時総会...ウェブ)、長崎県(薬剤師連盟役員会...ウェブ)、愛知県(薬剤師連盟通常総会...リアル)、岐阜県(薬剤師連盟主催のJPL会...ウェブ)、兵庫県(薬剤師会学校薬剤師大会...ウェブ)
その他、都道府県の支部薬剤師連盟の会合にも参加した。

●その他の活動!
都道府県薬剤師連盟、薬剤師会、支部薬剤師会などの会合への参加のほか、日本薬剤師会定時総会の会場前での立礼、日本病院薬剤師会通常総会、愛知県病院薬剤師会総会におけるウェブでの挨拶、茨城県女性薬剤師会研修会での講演、日本チェーンドラッグストア協会の役員会での挨拶等の活動も行った。

●毎日の活動をFacebookページに掲載!
神谷副会長は、毎日の活動状況を写真とともにFacebookページ「神谷まさゆきの活動日誌」に掲載しているの、是非閲覧願います。



風力計



日本薬剤師連盟
近畿ブロック総務 笠井 秀一

「源平合戦」

昨年度よりブロック総務を拝命いたしました兵庫県薬剤師連盟の笠井です。宜しくお願い致します。突然、私事で恐縮ですが私が開設する薬局エビラファーマシーの屋号、「えびら」は、初代の開設者である私の父親が昭和29年に薬局を開設する際、神戸市生田区(いくた)に、現中央区にある生田神社から頂いたものです。生田神社は、源平の合戦場となった生田の森に建立されました。生田神社には、源頼朝の臣である梶原景季が、源平生田の森合戦に赴く際、これから戦に臨む自分の気持ちを鼓舞する為、梅の枝を飯(えびら)に、矢を収める容器)に差して戦ったとされる故事に因んだ梅の木があり、その故事から屋号を頂きました。これまで薬剤師は新型コロナウイルスの影響により依然薬局、医療機関の経営に大きなダメージが出ている中、できる限りの感染防止策を施し「COVID-19」最前線で地域医療を支えてきました。更に現在、「コロナワクチン」住民接種において、薬液充填、必要な医薬品の管理、ワクチンにかかる質問や相談への対応、ワクチンを受けられる方が使用するワクチン情報をお知らせする方が使用できるよう丁寧な説明や支援、接種後の体調変化等の確認や副反応が疑われる場合の対応等を通じて多くの薬剤師が国民の負託に応えるべく研鑽を積み、ワクチン接種への役割を果たそうとしています。その後ろ姿が、梅の枝を飯に差し合戦に赴く梶原景季と重なる今日この頃です。この精神で臨めば、来年度の念願成就間違いなし!



藤井もとゆき国会レポート

薬剤師・薬学博士
情報監視審査会会長・参議院議員 藤井基之



新型コロナウイルス禍での戦い

新型コロナウイルスの新規感染者は、デルタ型変異株の感染拡大により、全国で連日2万人を超える等、これまでに無いスピードで拡大しています。

ワクチンの摂取率が80%を超えた65歳以上の高齢者の感染は減少していますが、20歳代、30歳代を中心に若い人の感染者が増加し、10歳代以下の感染報告も多くなっています。感染者の急増に伴い、医療提供体制は厳しさを増し、自宅療養する患者さんも多くなっています。政府は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置を適用し、感染拡大防止を図るとともに、若者等へのワクチン接種を早急に進めるとしています。また、抗体カクテル療法の外来での使用も検討され、医療提供やワクチン接種での薬剤師の役割も一層増大しています。

1年遅れとなった東京オリンピック・パラリンピックは、コロナ禍での開催となり、異例づくめの大会となりましたが、日々の練習を積み重ねて大会に臨んだ選手たちは、異口同音に応援する多くの人や家族、関係者への感謝の気持ちを表していました。

神谷先生は、来夏に向けて全国を精力的に訪問されています。我が事務所の秘書も同行して全面的に支援していますが、感染拡大の影響から思うに任せられないもどかしさを感じています。選手たちが話したように、地道な努力の積み重ねと周りの人たちの絶え間ない支えが、必ずや結果に結びつくものと思います。引き続き、皆さんとともに全力で応援して参りたいと思います。

神谷まさゆき氏 公認候補者に決定！

7月14日、自由民主党選挙対策本部は、第26回参議院議員通常選挙における第一次公認候補者を決定し、公表した。比例代表の公認候補者は17名で、現職14名、新人3名、男性13名、女性4名となっている。そして、新人として日本薬剤師連盟副会長の神谷まさゆき氏が含まれた。

公認申請書は、経歴書、支援団体一覧などの関係書類を添付して7月5日に提出していた。また、6月14日には、自由民主党選挙対策本部による比例代表候補者のヒアリングが行われ、日本薬剤師連盟から候補予定者である神谷副会長のほか、山本会長、荻野副会長が同席するとともに、今期で勇退する藤井基之参議院議員も参加していただいた。

今後、神谷副会長は、日本薬剤師連盟の組織内統一候補であるとともに、自由民主党の公認候補者という立場で全国の支部訪問を中心とする活動を展開していくこととなる。

第2回全国会長・幹事長拡大会議

開催される！

令和3年8月23日(月)、A.P日本橋において令和3年度第2回全国会長・幹事長拡大会議が開催された。大原常任総務の司会で開会され、冒頭の挨拶では、山本会長より九州、中国はじめ台風あるいは水害で危害に合われた地域の方々にお見舞いを申し上げた。また、コロナの感染拡大が止まらず緊急事態宣言、まん延防止等重点措置がとられている中で来年度の参議院選挙まで1年を切っている。薬剤師職能を維持するためにも、二人体制を維持したいと強い決意を示された。

議事に入る前に新しく会長、幹事長になられた方のご紹介があり、就任された方から挨拶があった。議事に入り、石井副会長から、会務、役員交代、若手フォーラムの開催状況等が報告された。次に荻野副会長から、直近の政治課題「ロビー活動」として来年度(令和4年度)予算・税制要望等について、本年5月及び7月、8月における菅総理大臣ほか主要議員への訪問状況について報告がなされた。更に岩本幹事長から、第49回衆議院議員選挙都道府県連盟推薦候補者について資料に基づいて報告がなされた。



協議に入る前に、神谷副会長から、全国支部訪問活動の状況を振り返りながら、改めて力強い決意のほどを全国の会長・幹事長に向けて表明した。続いて、神谷まさゆき中央後援会活動に関する報告と協議に入り、組織体制、後援会全体スケジュール、支部訪問等について担当役員より説明があり、大澤副会長からは紹介者・支援者名簿の収集状況について、全ての都道府県から名簿の収集状況と今後の予定について報告された。また、担当役員より、広報活動、支援団体の状況等について報告された。

「私、頑張ります!!」
緊急事態宣言や蔓延防止措置が再び範囲の拡大、期間の延長がなされる中「神谷まさゆき全国キャラバン」にも大きな影響が出てきている。本来であれば、ほとんど休みがないくらいに全国の薬局・病院・卸などを訪問し、顔と名前を覚えてもらうための活動に汗を流しているところだが、不完全燃焼の状態が続いている。今までのキャラバンでよく目にするのが「神谷先生、頑張ってください!!」という励ましの言葉をかけられる場面。確かに顔と名前を1人でも多くの方に覚えてもらうためのキャラバン。己を捨て、家族を捨て、仕事を捨てて頑張らないといけない時である。しかし今、本当に頑張らないといけないのは、神谷まさゆき氏の周りにいる我々だ!!ポスターを貼り、身の回りにいる方々に声をかけて、紹介者・支援者名簿をしっかりと集めることが大事である。いくら本人が必死になって活動しても、その支援の輪を広げていく仲間がいなければ、結果は目に見えている。神谷まさゆき氏は薬剤師である。そして、我々も薬剤師である。薬剤師が薬剤師のために立ち上がるうとしていく時に、それを支え、応援していくのが仲間である我々薬剤師である。神谷まさゆき氏が本当に頑張らなければならぬのは、左胸にバッジをつけてから。それまでは「私、頑張ります!!」と励ましてください。

編集後記

オレンジ日記



自民党 厚生労働部会副会長
参議院議員・薬剤師 本田顕子

自宅療養を経験して

この度は、大変ご心配をおかけしました。8月18日から復帰し党務を中心に活動を再開しております。

さて、「厚生」の語源は、中国古代の歴史書、書経に書かれている「正徳利用厚生」に由来し、「衣食を十分にし、空腹や寒さに困らないようにし、民の生活を豊かにする」という意味です。私はこの言葉の意味と実行の大切さを、自宅療養を通し改めて実感しました。

私は今回検査陽性となり、8月10日、保健所からの電話で自宅療養を伝えられました。「自宅療養」とは、新型コロナウイルスを人にうつすことを極力抑えるための隔離、社会との遮断、そしてコロナ感染症という病気を治すための治療と養生の期間であると私は理解しました。ワクチン接種の効果もあり、私の場合は熱が出ることもなかったため、オンライン診療等の必要はありませんでした。無症状といっても、多少の身体の変化はありました。起きる時に体が鉛のように重く感じます。以前検査陽性となられた経験がある、とかしきなおみ先生は「起き上がるときに引力を初めて感じた」とおっしゃいました。私はその言葉が本当にぴったりだと思いました。

こうした身体の変化を感じながらも治療という実感がなく不安に過ごされている自宅療養者が多くいらっしゃると思います。そして、その方々の不安な思いが不満につながっていくことを私たち国会議員も重く受けとめなければならないと思いました。

8月31日の自民党新型コロナ本部の緊急提言では、医療機関と薬局等の連携のもとで自宅療養者にも医薬品を円滑に投与できるよう早急に指針を示すべきと記載されています。

コロナ感染症の治療の道筋に貢献できるよう、先輩方に学び頑張ってください。

広報委員

- 鳥海 良寛、石井 甲一
- 大澤 泰輔、丹羽 松弘
- 橋本 昌子、加茂 雅行
- 和泉啓司郎、渡邊美知子



(T.O)